神戸市社会福祉協議会 福祉の情報誌

きずな KOBE

第9号
TAKE FREE
March.2015

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

この広報誌は赤い羽根共同募金配分金の補助を受けて発行しています。

阪神淡路大震災20年事業

特集.1 1.17から3.11へ、そして来るべき巨大自然災害への備えとして

特集.2 震災の体験・教訓・学びを次世代に伝えるつどい

美味しい! かわいい!福祉のお店
誕生日ありがとう

会いたかった Yes! この人
猿渡 康博さん(神戸常盤ボランティアセンター)

季節の人気メニュー
鰈の桜蒸し

催し・イベント情報ほか
読者アンケート&プレゼント

表紙写真／神戸常盤ボランティアセンターの皆さま

特集:1

1.17から3.11へ、そして来るべき巨大自然災害への備えとして

今年は阪神淡路大震災20年にあたり、神戸市の東遊園地で毎年行われている「阪神淡路大震災1.17のつどい」も例年のおよそ3倍の10万人強の人出でした。

神戸市社会福祉協議会では会場にテントブースを設け、竹灯篭等の由来についてのパネル展示や防災グッズの紹介など行いました。竹灯篭は、平成10年に現コミスタこうべ(旧吾妻小学校)グラウンドにて行なわれ、翌年に今の東遊園地に移ってきました。

1.17の竹灯篭には多くの方々のご協力にささえられています。

❶ 年末年始にかけての竹集め
(兵庫県下の社協等を回って切ってくれた竹を回収)

❷ 竹の中で灯す再生ロウソクづくり
その数2万個以上

❸ 1.17当日にふるまわれる1500人分の炊き出し(豚汁)準備

❹ 6434本を含め約1万本の竹灯篭が並べられます。

❺ 1999年(鳥取)からスタート、翌年以降島根県江府町(奥大山)からの雪による20体の純白の「鎮魂の雪地蔵」

❻ 1.17から3.11へ灯りの継承

南海トラフ巨大地震は阪神淡路大震災の震度7の地震に加え、津波が押し寄せます。

昨年度、内閣府において「南海トラフ巨大地震」対策の最終報告がとりまとめられました。「死者は最大で32万人」にもなるという衝撃的な数字でした。今、私たちはいかにしてこの数値を極力下げるためにどう防災・減災の備えをしていくかが鍵となっています。

特集:2

～阪神淡路大震災20年～

震災の体験・教訓・学びを次世代に伝えるつどい

とき:平成27年1月10日(土)13:30～16:00　ところ:神戸市勤労会館大ホール

阪神淡路大震災から20年を迎え、国内外から寄せられた神戸市民への温かい支援に対して、感謝の気持ちと神戸発“ボランティア”の原点にもう一度立ち返り、復興の過程で芽生えたボランティア体験・教訓とその学びを風化させないよう次世代に伝え、ボランティアと市民のふれあい交流の場として「つどい」が開催されました。また、神戸から東日本大震災の被災者の皆様に被災地の一日も早い復興への思いを届けました。

第1部 パネルディスカッション「震災20年 KOBEからのメッセージ:ボランティアの果たす役割」

森田氏のコーディネートにより4名のパネリストの方々が阪神淡路大震災時の経験や活動を通して抱いた思い、ボランティアのあり方などをお話いただきました。また、内外からの多くの方の力に助けられ立ち直ることができた神戸での経験を生かし、東日本大震災発生から4年を迎える現在まで、さまざまな形で支援活動をされている姿をご紹介いただきました。そして、被災各地で今なお復興に向かって取り組んでいらっしゃる方々へ大きな激励を届けました。これらの経験を風化させることなく若い世代に伝え、どのような地域づくりをしていくのかなど新たな防災学習を続けています。

コーディネーター:森田　拓也氏(神戸市いきいき勤労財団いきいき勤労部長)
パネリスト:大竹　茂　氏(避難所でのボランティアリーダー)
山川　泰宏氏(神戸・市民交流会事務局長)
堺　　汎　氏(グループわ理事長)
松田　道子氏(神戸YMCA国際・奉仕センター所長)

第2部 朗読でつづる震災20年のつどい

朗　読:震災を読みつなぐ会KOBE
協　力: 神戸市立住吉中学校放送部の皆さん
朗読指導:木村　章子氏　キーボード:大橋　千景氏

―朗読プログラム―

「かみさまのいじわる」
「命があっただけ　それだけでよかった」
「父と息子と」「息子と私の一月十七日」
「オレの手」「は～気持ちええ」「伝えよう」
「命と協力の大切さ」「なぜ」「娘の記憶を残したい」「さくらのひとりごと」「コウベ・ドリーム」

阪神淡路大震災では約77%の方が「窒息・圧死」でなくなられています。
↓
対策　家屋の耐震性強化と家屋内家具の転倒防止

昨年11月に起きた長野県白馬村の地震では、死者がでなかった。
↓
対策　早期救出を行う市民救助用資機材の備え

津波が襲ってくるまでの間の正しい情報取得
↓
対策　ラジオ・テレビ等の情報取得

想定浸水域以上の高台等への避難を
↓
対策　津波が来てからでは手遅れ。直ぐにより高い所へ

日本列島を襲う最近の災害への支援

「平成26年8月豪雨」と名付けられ、激甚災害指定をされた今年の夏の豪雨は近畿にも大きな爪痕を残した。丹波市災害ボランティアセンターへの先遣隊・職員派遣・支援物資(神戸マラソン事務局より)提供の他、市民ボランティアバスの運行を行いました。

また同じ政令指定都市で、神戸と地形・地質的にも良く似た広島市の土砂災害に対しても、見舞金の他、バスで往復８時間の強行軍でしたが、学生を含め22名の参加で実施しました。

地震・災害の心がまえ（ワンポイント）

地震・災害はいつ起こるかわかりません。まずは自分の命は自分で守ることが大切です。
日頃から、地震・災害が発生しても落ち着いて行動がとれるよう、日頃から心がまえを持っておくことが大切です。

子どもを連れて避難する時のことも考えてみよう！

乳幼児との避難について

① 地震の時はまず、赤ちゃんの頭をガード。周りに倒れてくるものがない場所に避難を。親がパニックになりそうになったら、慌てずに深呼吸をして冷静になりましょう。

② 地震の揺れが一度落ち着いてから、火を消して玄関やドアなどの出口を確保しましょう。

③ ラジオやテレビで正しい情報を聞き、今後の行動を冷静に判断します。

※上の子がいれば、子ども用リュックの他にも、お菓子などを入れたポケットつきのベストなどを着せてもOK。

※子どもを抱えたまま、緊急持出し品を持って避難できるか、確認しておきましょう。各家庭の事情に合わせて、量を調節します。

※子どもの成長は早いので、月１回か季節の変わり目に見直しを!

まず「防災ママバッグ」を準備しよう！

「**防災ママバッグ**」は最低限の物を！ 両手が空くリュックにつめ、持出ししやすい所に分散して置きましょう。
それぞれ必要なものは違うかもしれませんが…

- □ すぐに食べられる食品・食べなれたお菓子　□ 現金・小銭
- □ 飲料水　□ 懐中電灯　□ スティックタイプの粉ミルク
- □ ラップ　□ ベビーフード　□ おしりふき　□ 抱っこひも
- □ バスタオル　□ カイロ・保冷剤(ミルクを温めたり冷やしたりできる)
- □ おむつ(圧縮袋を使ってコンパクトに)　□ 砂糖か氷砂糖
- □ コピー一覧(免許証・保険証・母子手帳・生命保険証・お薬手帳・銀行口座)
- □除菌シート　□レジ袋

などを入れておきましょう

あわてず！落ち着いて！行動しましょう。

1. 大きな揺れを感じたらまずは身の安全を確保しましょう！
2. 揺れがおさまったら直ぐに「火の始末」を！
3. 非常出口（玄関・窓など）を確保しましょう！
4. あわてて直ぐに外に飛び出さないようにしましょう！
5. 家族にケガがないかなど声をかけ確認をしましょう！

日頃から・・・・

1. 非常持ち出し品・備蓄品などを用意しましょう！
2. 避難場所・経路を確認しておきましょう！
3. 家具の固定など災害に備えましょう！
4. 「171災害用伝言ダイヤル」のサービスの確認を！
5. 防災訓練には積極的に参加しましょう！

兵庫県ボランティア活動等行事用保険のご案内

この保険はボランティアグループ・市民活動団体が行事を主催する場合のもしもの時に備えた保険です。傷害保険と賠償責任保険がセットになっており、行事をされる際には、ぜひご検討ください。

1名50円、1日1,000円より
ご加入いただけます。
宿泊を伴う行事もございます。

お問い合わせ　神戸市社会福祉協議会 ボランティア情報センター
TEL:078-271-5306

取扱代理店　㈱兵庫福祉保険サービス
TEL:078-735-0166
引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社

会いたかった Yes! この人

学生の学びを支援し、大学・学生・地域を効果的につなぐ！

▲被災地へ学生を引率

神戸常盤ボランティアセンター
猿渡（さるわたり） 康博（やすひろ）さん

サラリーマンから転身、特養施設長を経て現職に。学生とともに淡路島、那智勝浦など水害における災害ボランティアとして活動。リーダー育成に力を入れている。学校法人玉田学園 法人本部地域連携室室長。

平成21年8月、学校法人玉田学園に開設された神戸常盤ボランティアセンター。ボランティアを必要としている人や環境とボランティア活動をしたい人を結びつける役割を担って、また、神戸常盤大学、同短期大学部、神戸常盤女子高等学校、附属ときわ幼稚園を視野に入れた学園のボランティアセンターとしても位置づけられています。同学園の建学の精神である「実学・人間愛の教育」を基盤として地域に貢献することを通じて自らの成長に繋げます。猿渡さんはサラリーマンから特別養護老人ホーム施設長を経て、2年前に現職に就かれました。同センターで外部や学生からの相談窓口として最前線で活躍されています。

現在は全学生に向けたボランティアのガイダンスを行い、災害ボランティアバスを運転し学生とともに被災地へ赴き活動をされています。同センターはこれまでにも平成21年の佐用町水害支援ボランティアを始め数多くの活動を行ってきましたが、東日本大震災支援の活動は参加した学生や猿渡さんにとって最も記憶に残るものになったようです。震災発生から2週間後に緊急支援活動として炊き出しを行い、夏休みには夏祭りも行いました。「誰かのために何かをさせていただくという経験は学生の将来にも大きく関わってきます。卒業後、医療機関や教育の現場に就く学生にとって、自分で行動できる人間に成長するための良い学びとなっていることを感じます」と猿渡さん。学生の学びを支援し、大学・学生・地域を効果的につなぐ役割を果たすという同センター設置の目的がそのまま実践されていると言えそうです。また、新長田駅前広場での"1・17KOBEに灯りをinながた"には、同センター発足以来毎年参加。卒業生も一緒に60名を超える学生が炊き出しを行っています。学生時代のボランティアとしてだけでなくリーダーとなる学生を育て、社会に出てからも多方面で活躍できる人を育成するため、猿渡さんは学生が活動しやすい環境を作ろうと今日も奮闘されています。

▲那智勝浦町の水害におけるボランティア活動

みんな大好き 季節の人気メニュー

Recipe 鰈（かれい）の桜蒸し

毎年、施設の周辺に植えられた桜の花が咲き誇る時期に、鰈の桜蒸しを提供しております。

桜の花の塩漬けがとても良い香りだねと利用者様から喜んで頂ける1品です。

これからも、旬の食材を使用し、季節を感じて頂ける献立作りを目指していきたいと思います。

材料

- カラス鰈…60g
- 桜の葉…1枚
- 桜の花の塩漬け…1輪
- 道明寺粉（ピンク）…70g（乾燥時は40g）
- 八方だし…適量
- 筍…20g
- ワカメ…10g
- 昆布…3g
- 銀あん（出汁180cc…みりん大さじ2 うすくち醤油…大さじ1 片栗粉…適量）

作り方

① 魚の下処理 カラス鰈にうす塩をふり30分置く
② 道明寺粉を薄味の清汁に20分程漬けふやかしておく
③ カラス鰈の水分を拭き取り、下に昆布を敷き10分間蒸す
④ 蒸し上がった鰈を道明寺粉と桜の葉で包む
⑤ 包み終わったら、桜の花を乗せて3分蒸す
⑥ 炊いておいた筍とワカメを添えて、銀あんを上からかける。

紹介者

社会福祉法人
北須磨保育センター
介護老人福祉施設
友が丘YUAI

人生の先輩として常に尊敬の念を持ち、利用者お一人お一人の性格や身につけてこられた生活習慣を大切にした個別ケアを実践いたします。

〒654-0142
神戸市須磨区友が丘3丁目126

有料老人ホーム
チャーム須磨海浜公園
神戸市指定介護保険特定施設（一般型）申請

平成27年4月1日新規オープンにつき
入居受付中

ホーム見学随時受付中
4月1日より体験入居ご利用頂けます。

お問い合わせ フリーコール 0120-453-286 チャームケア 検索

ご利用料金（税込）※1人部屋の場合

選べる料金プラン		入居一時金	月額利用料
プラン1	家賃相当額毎月払い	0万円	22万2,280円～
プラン2	家賃相当額一部前払い	240万円	18万2,280円～

●月額利用料の内訳／家賃相当額（プラン1：12万4,000円～ プラン2：8万4,000円～）、管理費4万8,600円（水道光熱費含む）、食費4万9,680円（30日分概算）※介護保険1割自己負担分、個別対応費、理美容代、おむつ代、医療費など別途 ●入居一時金の解約時返金プラン／プラン2において入居日に20%償却し、入居後60カ月で月次償却します。退去の場合は入居月数に応じて未償却額を返還します。
※ご入居には、ご入居月の日割り家賃相当額と日割り管理費、ご入居翌月の家賃相当額と管理費が必要です。 2人部屋についてはお問い合わせ下さい

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●類型：介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）●居住の権利形態：利用権方式●利用料の支払方式：選択方式●入居時の要件：入居時自立・要支援・要介護●介護保険：神戸市指定介護保険特定施設（一般型特定施設）申請予定●介護居室区分：全室個室●介護にかかわる職員体制：3：1以上 ※2015年1月16日現在

美味しい！かわいい！福祉のお店

人気の干支シリーズを始め、丁寧な仕上げの商品が人気！

誕生日ありがとう

平成23年10月に開設した「誕生日ありがとう」は、就労継続支援B型施設です。少し変わった名前ですが、誰にでも年に一度めぐってくる誕生日に、自分が生かされているありがたさを感謝するとともに、知力ハンディキャップのことをみんなの問題として考え、誕生日を福祉に積極的に関わっていく日として有意義に過ごそうという運動から名付けられています。同法人は神戸だけでなく全国から使用済みの切手やテレフォンカードなどを収集。それらを使ったさまざまなグッズを製作、販売しています。現在、同施設にはさまざまな障がいを持つ方が19名登録されており、毎日、14名くらいの方が作業をされています。最初の商品である切手しおりを始め、切手ストラップなど切手を使ったもので10種類以上の商品を生み出しています。キャラクターのきっかけは、中央区役所のまちづくり支援課に制作許可を求めました。お話をしたのが、南京町でのバザーでした。さらに、出展したバザーをきっかけに神戸市中央区のキャラクターであるかもめん、サンプラザ名店会のプラザルなどのグッズも手掛け、可愛い新商品も登場しています。「古切手集めは啓発運動のひとつの手段。目的は古切手を通して知力ハンディキャップの問題の正しい理解者を増やすこと」と光岡代表。

また、以前から使用済み切手収集に協力いただいていた福島県いわき市なこそ授産所の地震津波被災の知らせを受け、商品を定価で仕入れて神戸で販売する支援を開始。神戸市中央区の社会福祉協議会の協力の下、他事業所とともに神戸駅サンポルタ広場で毎月11日に開催される「いちいちバザール」にて3年間販売を続け、今後、東北から数名の方を招待した神戸まつりのパレードへの参加も予定されています。

「地区にある福祉施設として橘地区の防災訓練にも参加しています。東北支援は目的ではなく手段です。いちいちバザールへの参加をきっかけに地域とつながりが持てたことがよかった」と光岡代表にお話いただきました。これからも地域の中で活動の輪が広がっていくことでしょう。

住　所　神戸市兵庫区西多聞通1-1-5
TEL.　078-335-5393
FAX.　078-335-5360
開所時間　9:30～15:30
定休日　日曜日・イベントのない土、祝日
ホームページ　http://tanjyobiariga10.web.fc2.com/

TOPICS 福祉ライブラリーのご案内

福祉に関心を持っている方、ボランティア活動に参加している方、地域福祉活動に尽力している方、あるいは社会福祉施設等で働く方々を対象に、福祉への関心や、仕事の専門性を高めていただくための情報を収集し、提供している図書室です。どなたでも利用できますので、お気軽にお立ち寄りください。

※貸出の際は、利用者カードが必要となります（登録無料）。
貸出はお一人10点まで2週間（ビデオ、DVDはあわせて5点まで）。

【開 室 日】月曜日～金曜日(国民の祝日、年末年始、図書整理日は除く)
【開室時間】午前10時～午後6時
【所在地案内】こうべ市民福祉交流センター2階
【電話番号】(078)271-5307

[お悔やみ]

神戸市社会福祉協議会前理事長 今井 鎮雄 様（93歳）におかれましては平成26年11月3日永眠されました。永らく神戸の福祉・教育等の各種団体の役員を歴任され、多大なる貢献をされましたことに、謹んでお悔やみ申し上げます。

神戸市営地下鉄

西神中央　西神南　伊川谷　学園都市　総合運動公園　名谷　妙法寺　至 三宮

西神中央駅前 PLENTY

110のショップ&レストラン
プレンティ ☎992-0001

西神南駅前 Serio

素敵を彩る郊外生活夢中館
セリオ ☎992-6200

学園都市駅前 CampusSquare

夢ひろがる暮らしのステージ
キャンパススクエア ☎793-6601

名谷駅前 PATIO

いつでも　そこが
須磨パティオ ☎793-1740

妙法寺駅前 RIFARE

いつも暮らしに青空を　街の生活必需館
リファーレ横尾 ☎741-8814

お買い物は地下鉄沿線で！
5つのショッピングセンター

株式会社 OMこうべ
http://www.om-kobe.co.jp

3月～5月の催し・イベントご案内

募集 こべっこランド スマイルサポーター（社会人ボランティア）募集

4月1日(水)～通年

社会人ボランティアは、こべっこランドのコンピュータールーム・造形スタジオでの子どもたちの活動のサポート、料理教室や親子のひろばでの運営補助、大きなイベントのサポートなど「子どもたちへの遊びの支援」を行うボランティアです。

【場所】神戸市総合児童センター（こべっこランド）
【参加費】無料 ボランティア共済加入料500円のみ自己負担）【定員】30人
【申問】神戸市総合児童センター（こべっこランド）TEL 382-1300
E-mail :mail@kobekko.or.jp

催し 発達障がい支援者・ボランティアサポート事業

5月スタート

市民や教員、保育士、放課後等デイサービス職員等の専門家を対象に、ソーシャルスキルトレーニング（SST）、TEACCHプログラム、作業療法、言語療法、感覚運動など13種の講座（一部実習有り）を開催します。申込、日程等については、詳しくは4月以降のこべっこランドホームページ（http://www.kobekko.or.jp/）をご覧ください。

【場所】神戸市総合児童センター（こべっこランド）他
【申問】神戸市総合児童センター（こべっこランド）TEL 382-1300
E-mail :mail@kobekko.or.jp

講座 市民福祉大学 朗読ボランティア入門講座

5月11日(月)～8月24日(月)
全15回13:30～16:00

視覚障がい者への理解を深め、朗読ボランティアとして必要な知識・技術を学びます。

- 朗読技術
- 視覚障がい者の介助（実習）等

【場所】こうべ市民福祉交流センター
【参加費】8,000円【定員】30人 4月に選考会あり
【申問】市民福祉大学 TEL 271-5300

講座 市民福祉大学 点訳ボランティア入門講座

5月12日(火)～10月6日(火)
全20回+予備日2日14:00～16:00

視覚障がい者への理解を深め、点訳ボランティアとして必要な知識・技術を学びます。

- 五十音、数字、アルファベットの打ち方
- 点訳書の作成
- 視覚障がい者への理解（アイマスク体験・ゲストトーク）

【場所】こうべ市民福祉交流センター
【参加費】10,000円(テキスト・教材費込)【定員】30人
【申問】市民福祉大学 TEL 271-5300

ご報告

平成26年度区社協役員協議会

11月5日（水）に、市社協と区社協の役職員が一堂に会して開催いたしました。今回は全社協より渋谷篤男事務局長を講師としてお招きし、「これからの社協の相談支援・生活支援・地域支援のあり方を考える」と題してご講演をいただきました。

社会的孤立など、複雑化する地域の問題に対応するため、行政・専門機関・住民が協力して、地域で総合的に支える相談・支援の仕組みづくりの大切さなど、情報を共有する機会となりました。

地域見守り講演会

平成26年11月10日（月）、市内でひとりぐらし高齢者友愛訪問活動を行っている友愛訪問ボランティアの方を対象に、日頃の活動への感謝と労いの気持ちをこめて、地域見守り講演会を開催しました。「ファ!はファイトのファ～ペギー葉山の介護日記」というテーマでペギー葉山さんをお招きし、ご自身の介護経験のほかボランティアの皆様に日頃の活動や阪神淡路大震災発生からの神戸の復興を支えたことに対するねぎらい、励ましの言葉をいただきました。ユーモアを交えながら明るくお話くださり、明日への活動の活力となった講演会となりました。

福祉教育講演会&「愛の輪ポスター」「福祉体験作文」表彰式

「思いやり」「譲り合い」「助け合い」等福祉の心を伸ばし育むことを目的に、市内の小・中・高校生から福祉の心を表現したポスターの募集と、市内の中・高校に通う生徒を対象に福祉施設での体験学習に参加した生徒の作文の募集を行い、その中で優秀な作品に対して表彰式を平成26年12月14日（日）に行いました。また、記念講演としてスポーツプロデューサーの三屋 裕子さんをお招きし、「人を活かすリーダーシップのヒント」をテーマにご自身の体験談を踏まえ、人と人との出会いの大切さ、人から必要とされることの意義など、元気のでるお話をたくさんいただきました。

ご寄付をありがとうございます。

～みなさまの善意を神戸市の福祉活動に役立てます～
＊寄付をしていただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇措置が受けられます

【善意銀行】平成26年10月～12月末 善意銀行では、金銭・物品のご寄付を「金銭口座」と「物品口座」にお預かりしています。《敬称略。ご承諾をいただいた方のみ掲載しています》

預託の部
金銭口座：瑞乃会、匿名6件
物品口座：岡本株式会社

払出の部
金銭口座：神戸市児童養護施設連盟、兵庫障害児放課後ネットワーク、ホーム塩屋
物品口座：こうべ子ども文庫連絡会、カトリック社会活動神戸センター、神戸市知的障害者施設連盟、神戸市内の各児童養護施設

【社会福祉推進基金】府国生第534号 内閣府NPO法人 暮しの寺小屋ライフサイエンス 中村淳子 二期会

しあわせの村 ボランティア募集

楽しいイベントをいっしょに企画・運営しませんか！

申込方法 FAX、はがきに名前・住所・電話番号、①ユースか②社会人かを記入し下記に送付。または WEB（www.shiawasenomura.org）にて。
締　切 4/15（水） ※必着
申込先 〒651-1102 神戸市北区しあわせの村 内
（公財）こうべ市民福祉振興協会 事業推進課
TEL:078-743-8092 / FAX:078-743-8180

キャンプ、アウトドアクッキング、おばけやしき、おはなし、昔あそびなどイベントがいっぱい！

社会人ボランティアと探検ツアー参加のみなさん

ユースボランティアとキャンプ参加のこどもたち

①ユースボランティア（大学・短大・専門学校生のみ）
説明会 4月19日（日）10：00～ 要申込
②社会人ボランティア（18歳以上）
説明会 4月19日（日）14：00～ 要申込

プレゼント

アンケートにご協力ください（応募締切：3月25日必着）

「きずなKOBE」第9号はいかがでしたか?
ご覧になった感想をお寄せください。お寄せくださった方のなかから抽選で下記の商品をプレゼントいたします。

A 神戸のゆるきゃら雑貨を集めました。

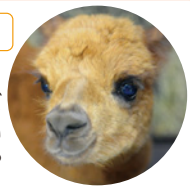
誌面で紹介しました誕生日ありがとうさんで作られています、神戸のゆるきゃらグッズです。中央区かもめんのマグカップ、こべっこランドカーモのマグネット、そして神戸ふれあい工房ふわぽんのイヤホンジャック!
「かわいい」雑貨にみんなの視線が集まること間違いなし!!

- かもめんマグカップ（中央区マスコット）
- カーモマグネット（こべっこランドマスコット）
- ふわぽんイヤホンジャック（神戸ふれあい工房マスコット）

2名様

B 「神戸どうぶつ王国」入国券 5組10名様

「花と動物と人とのふれあい共生」をテーマとした全天候型施設。ベゴニアやスイレンなどが一年中咲き乱れ、関西初飼育のハシビロコウや、アルパカやカピバラ、犬や猫やうさぎなどが住んでいます。バードパフォーマンスショー、オットセイパフォーマンスや動物たちとのふれあい、お買い物などが家族ぐるみで楽しめます。



アルパカ・リク

アクセス
三宮からポートライナーで約14分
京コンピュータ前駅（神戸どうぶつ王国）下車すぐ

花と動物と人とのふれあい共生パーク
神戸どうぶつ王国
〒650-0047 神戸市中央区港島南町7-1-9
TEL.078-302-8899
動物取扱業の登録　販売【登録番号】神保保第 0314002
展示【登録番号】神保保第1314001 【有効期間】平成26年4月1日～平成31年3月31日まで有効 【取扱責任者】藤岡 健児

投稿欄 VOICE ～第8号に寄せて～

- 地域福祉ネットワーカー座談会を読み感動しました。人との関わりが又人と人とのコミュニケーションが社会でどれほど大切かがよくわかります。（T. Yさん）
- きずなKOBEのこの情報誌の名前がとてもステキで、ほほえましく表紙のこのさわやかな笑顔がぴったりですね。（K. Sさん）
- 「美味しい!かわいい!福祉のお店」各事業所さんの具体的な活動と商品の様子がわかり、今後もずっと拝読しようと思いました。（Y. Kさん）
- 社会福祉協議会という組織は知っていましたが、活動内容には知らないところが多いです。今回の特集を読ませていただいて理解できました。お互い助け合いの気持ちを大切にしたいなと思い読ませて頂きました。（K. Sさん）

「きずなKOBE」では読者の皆様からの投稿を募集しています。応募はプレゼント欄と同じ宛先にどうぞ。掲載者には、記念品を贈らせていただきます。

【応募方法】ハガキまたはEメールで

お名前、ご住所（〒）、電話番号、年齢、性別、職業と希望のプレゼント名、本誌をご覧になっての感想を明記して、下記までご応募ください。当選者の発表は商品の発送に代えさせていただきます。

ハガキ　〒651-0086
神戸市中央区磯上通3-1-32
神戸市社会福祉協議会
「きずなKOBE」プレゼント係へ

Eメール　kouhou@with-kobe.or.jp

※次号は2015年7月発行の予定です。

トヨタハートフルプラザは、トヨタの福祉車両「ウェルキャブシリーズ」の総合展示場です。

TOYOTA

来て、見て、さわって体感しよう!!

ウェルキャブを常時10台取り揃え、カタログだけではわからない実車の使い勝手や機能・操作の確認をしていただけます。
専任のスタッフがお客様一人ひとりのご要望にあったクルマ選びのお手伝いをいたします。
カスタマイズの相談も承ります。
お気軽にご来場ください。

10台 常時展示

〒650-0023
兵庫県神戸市中央区栄町通7-1-3-2F
神戸中央郵便局西向い

トヨタウェルキャブ 総合展示場 **トヨタハートフルプラザ神戸** TEL.078-366-1616 FAX.078-360-0399
営業時間／午前10:00～午後6:00　定休日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
ハートフルプラザ神戸 検索 http://toyota.jp/heartful/

きずなKOBE 第9号（2015年3月発行）
発行　社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 広報交流部
〒651-0086 神戸市中央区磯上通 3-1-32 こうべ市民福祉交流センター
http://www.with-kobe.or.jp/　TEL 078-271-5306
監修　株式会社プランニングオフィス・トライ

この広報誌は愛の輪運動の補助を受けて発行しています。

「きずなKOBE」では、企業等の広告を掲載しています。広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市社会福祉協議会 広報交流部へ。

神戸市社協広報印刷物登録
平成26年度第2−3号　広報印刷物規格A−3類